

ノバルロン乳剤 カウンター乳剤	取扱メーカー： OAT*, クミカ*, サンケイ*, エス・ディー・エス 原体メーカー： エス・ディー・エス
成分： ノバルロン〔IGR（キチン合成阻害剤）PRTR・2種〕…8.5%	性状： 黄色澄明可乳化油状液体 毒性： 普通物 消防法： 第4類・第3石油類（非水溶性）・危険等級III

【品目特性】

- コナガ、アオムシ、ヨトウムシ、ハスモンヨトウ、オオタバコガなどのチョウ目害虫、難防除害虫のハモグリバエ類、コナジラミ類及びアザミウマ類に対して高い殺虫効果を示す。
- コナジラミ類（タバココナジラミ、オンシツコナジラミ）の卵、幼虫、蛹に対する優れた効果で、長期間にわたって密度抑制する。
- 天敵、有用生物に対して影響が少ないので、I P Mにも活用できる。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】

- 植物体上での浸透移行性がないため、葉裏にも十分かかるように散布する。
- 幼虫の脱皮を阻害して死亡させる性質を持つ薬剤であるので、幼虫期になるべく早く散布する。

【薬効・薬害等の注意】

- トマトの果実には薬害の生じるおそれがあるので、開花の始まった圃場又は施設等では散布しない。
- ピーマンに使用する場合、他の農業と混用又は展着剤などを加用すると、薬害を生じるおそれがあるので、混用はさける。
- てんさいに対して希釈倍数750倍で散布する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を使用する。
- 散布液調整後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布する。
- 抵抗性の発達を防ぐため、作用性の異なる他剤との体系散布を行う。
- 共通注意事項8. 適用作物群に関する注意事項を参照。

【安全対策上の注意】

- 甲殻類に影響を及ぼすおそれがあるので使用時及び使用後も注意。
- 散布器具及び容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。



【適用と使用方法】

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	ノバルロンを含む 農業の総使用回数
キャベツ	コナガ アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ	2000～ 3000倍	100～ 300 ℓ	7日前まで	3回以内	散布	3回以内
ブロッコリー	ハイマダラノメイガ				2回以内		2回以内
カリフラワー	ハスモンヨトウ	2000倍		3日前まで 14日前まで	3回以内		3回以内
レタス 非結球レタス	オオタバコガ ハスモンヨトウ	3000倍					3回以内
しそ	ハスモンヨトウ	2000倍		前日まで	2回以内		2回以内
なす	コナジラミ類 オオタバコガ ハモグリバエ類 ハスモンヨトウ	2000～ 3000倍					一番花の 開花まで
	アザミウマ類	2000倍					
トマト ミニトマト	コナジラミ類 オオタバコガ ハスモンヨトウ	2000～ 3000倍		前日まで	4回以内		4回以内
	ハモグリバエ類 アザミウマ類	2000倍					
ピーマン	オオタバコガ	3000倍		前日まで	2回以内		2回以内
いちご	アザミウマ類 ハスモンヨトウ	2000倍	3日前まで				
アスパラガス	オオタバコガ ハスモンヨトウ			2000～ 3000倍	7日前まで	2回以内	2回以内
にんにく	ネギコガ	750倍	25 ℓ				
てんさい	ヨトウムシ	2000～ 3000倍	100～ 300 ℓ	14日前まで	5回以内	5回以内	
	カメノコハムシ アシグロハモグリバエ シロオビノメイガ	3000倍					
ふき	ハスモンヨトウ	2000倍	発生初期	5回以内	5回以内		
きく	アザミウマ類 オオタバコガ						
花き類・ 観葉植物 (きくを除く)	アザミウマ類						